

12

月

すいもん通信

2025 イベントカレンダー

(営業時間 11:00 ~ 15:00 カフェ: カフェ営業日)

1	月	
2	火	カフェオープン
3	水	
4	木	
5	金	カフェオープン
6	土	
7	日	
8	月	
9	火	カフェオープン
10	水	
11	木	
12	金	カフェ/二胡教室
13	土	カフェ/健康体操
14	日	
15	月	

16	火	カフェオープン
17	水	
18	木	
19	金	カフェオープン
20	土	カフェ/二胡教室
21	日	
22	月	
23	火	カフェ/クラフト教室
24	水	
25	木	
26	金	カフェ/二胡教室
27	土	カフェ/ 10:00~ 野菜販売
28	日	
29	月	
30	火	カフェオープン
31	水	

社会福祉法人 晃宝会

(あじさい園・あじさい園 宝

オレンジカフェ すいもん

奈良市水門町 47-3

TEL 0742-93-9791



く 本末浩司先生 健康体操 (けんぞう俱楽部) >

12/13 (土) 10:00 ~ 11:00

奈良市社会福祉協議会、

若草地域包括支援センターにご協力いただきます。



く 森脇眞理子先生 二胡教室 >

12/12・20・26

中国の伝統的な美しい擦弦楽器。

まずは見学だけでもお気軽にどうぞ！



く 久賀裕子先生 クラフト教室 >

12/23 (火) 10:00~

開くとパッと飛び出す手作りのカード！

参加費: 300 円



く 田原新鮮野菜販売 >

12/27 (土) 10:00 ~

無くなり次第終了です。



長年、晃宝会の外部評価機関としてご指導をいただいているNネットO先生の「尊厳を守るとは」の解説①～④がNネット通信に掲載されましたので、共有させていただきます。

①「利用者の生活歴、価値観や生活習慣、生きがいなどの把握」介護は、利用者を守ることから始まります。医療面や身体面のアセスメントだけでなく、どのような環境で、どのような人生歩んできたか、何を生きがいに暮らしていったかなどを把握す

ることが尊厳を守る第一歩です。入居前だけでなく、グループホームでの生活の中で利用者から聞きとり、記録して職員で共に有し、介護に役立てほしいと思います。

②「自己決定の尊重」

外部評価で「利用者からの思いや意向の表明があまりない」と聞くことがあります。利用者の思いや意向を意識的に引き出したり、自己決定をする機会を日常的に作り出したりすることも介護の大切な仕事だと思います。

③「残存能力の活用」

利用者ができることは、時間がかかる場合でも、してもらいましょう。利用者が残存能力を發揮してもらえる環境の整備も必要です。生来リハビリの観点から、食事の時は車椅子の方も普通の椅子に座りかえてほしいものです。最近は、残存能力の保持だけでなく、積極的に運動し筋力をつけ、健康寿命を延ばす考え方

④「利用者の社会とのかかわり」

家族との交流だけでなく、エコマップを作つて社会資源を把握し、社会との交流の場を創り出します。また、お出掛けする機会をつくり、記録して計画的な外出支援に繋げてほしい。買い物に出かけたり、外食をしたり、たまには花見に出かけたりしたいものですね。

最後に、利用者の「尊厳を守る」ことは、事業所での生活すべての支援にかかわってきます。もし、利用者個々の尊厳を守る上で解決すべき課題があれば、ケアプランに盛り込んで実施し、利用者がよりその人らしく生きていけるよう、支援してほしいと思います。

これからもずっと守っていきたいご利用者ひとりひとりの尊厳について、専門職として常に寄り添い考え続けたい、気持ちが引き継まりました。